

講義科目名称： 総合実習 I

授業コード： 2230500600

英文科目名称： Comprehensive Nursing Practice I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	2単位	必修
担当教員			
◎岡村典子、◎石田和子、◎常盤洋子、◎大久保明子、◎小長谷百絵、◎谷本千恵、◎高林知佳子			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 前期</p> <p>【授業時間】 60時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>◎岡村 典子 (基礎看護学) 216  ◎石田 和子 (成人看護学) 317  ◎高柳 智子 (成人看護学) 203  ◎常盤 洋子 (母性看護学) 320  ◎大久保 明子 (小児看護学) 207  ◎小長谷 百絵 (老年看護学) 213  ◎谷本 千恵 (精神看護学) 312  ◎高林 知佳子 (地域看護学) 304  実務経験のある教員が担当します</p> <p>【本学の科目区分】  専門科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】  看護師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】  <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>
------	--

到達目標	<p>1. 各専門領域におけるケアの対象者やその医療・ケアの特徴を総合的に理解する。</p> <p>2. 専門的知識・理論を活用した看護援助を実践し、専門的・統合的な看護能力を修得する。</p>
授業概要	<p>学生の個々の学習課題に対応した病院や地域の実習場所を選定し、現実に即した看護活動および、課題に対応した看護を総合的に実施しながら学ぶ。具体的には複数患者を担当する実習、あるいは一勤務帯および夜間の実習、課題による看護過程の展開実習を行い、この看護援助を通して総合的な看護能力を培うとともに、自らにとっての「看護とは」をあらためて吟味する機会とする。</p>
授業計画	<p>授業内容</p> <p>授業形態：実習（対面）  学習課題・学習内容：当該コースの実習目標・内容、場所、スケジュールによって実習する。  実習期間：7～8日間（臨地）</p>
事前・事後学習	<p>事前学習：1～3年次に受講した講義・演習・実習での学習内容や自己の課題、看護技術到達度リストなどを振り返り、各領域の実習目標を達成するために関連する知識・技術の復習を行う。</p> <p>事後学習：実習記録やレポート等として学習内容を整理し、学習上課題となった知識や技術を自己学習する。</p> <p>*その他、各実習領域で指定された事前・事後学習を実施する。</p>
評価方法、評価基準	<p>到達目標1・2は、実習に取り組む姿勢、実習記録物、成果報告発表、レポートなどにより総合的に評価する。評価は実習担当教員が責任を持つ。</p>
必携図書	<p>特に指定しない。</p>
参考図書・資料等	<p>各専門領域の実習担当教員が適宜紹介する。</p>
受講、課題、資料配布等のルール	<p>実習オリエンテーション時に示されるルールにより、実習担当教員の指示に従って実習する。</p>
教員からのメッセージ	<p>各自が明確な実習目標を立て、主体的に実習に取り組んでください。実習担当教員に十分相談し、指導を受けながら行ってください。また、実習場所とよく連絡をとり、チームメンバーや多職種の人々との調和を図るように努めて実習してください。</p>
オフィスアワー	